

時代に取り残された学校現場

教育施策の立て直しを考える

シンポジウムの狙い

IT 産業革命を迎えて社会が急速に変化し、社会が少子・高齢化へ向かう中で、いつの間にか教育政策は置き去りになり、教育への国民的関心が希薄になってきました。学校施設の老朽化と近代化の遅れ、教員の過重労働と不足など喫緊の課題が多数あげられています。シンポジウムでは学校現場の課題を出し合い、これを解決する対応策を模索し、政策へ結びつく提言と討論を展開します。

主催 [認定NPO法人 21 世紀構想研究会](#)

協賛 [武蔵エンジニアリング株式会社](#)

開催日時 2022 年 10 月 1 日（土） 午後 2 時 - 4 時

会場 [日本記者クラブ 10 階大ホール](#)（東京都千代田区内幸町 2-2-1）

シンポジウムは、同時オンライン配信も行います。



21 世紀構想研究会公式サイト

参加費 無料

パネリスト 安西祐一郎



1946 年生まれ、慶應義塾学事顧問・日本学術振興会顧問・公益財団法人東京財団政策研究所所長。1974 年慶應義塾大大学院修了、工学博士、博士（哲学）。慶應義塾長、日本学術振興会理事長、中央教育審議会会長などを歴任。主な著書、『教育が日本をひらくーグローバル世紀への提言』（慶應義塾大出版会）、『教育の未来』（中公新書ラクレ）など。

パネリスト 小本 翔



1985 年東京生まれ。青山学院大文学部卒。埼玉県公立小学校に 3 校、計 14 年勤務。子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」作りのため、様々な「授業準備」に力を入れる。学年主任・生徒指導主任を歴任。現在、埼玉大教職大学院で学ぶ。研究テーマは「異文化理解を見据えた小学校外国語科の授業デザイン」。

パネリスト 松本美奈



1964 年、東京生まれ。慶應義塾大法学部卒。一般社団法人 Q ラボ代表理事、教育ジャーナリスト。上智大特任教授、帝京大客員教授、東京財団政策研究所研究主幹。大学改革支援・学位授与機構認証評価委員。主な著書、『異見交論 崖っぷちの大学を語る』、『大学の實力』（共著中央公論新社）、『特別の教科 道徳 Q&A』（共著ミネルヴァ書房）等

モデレーター 橋本五郎



1946 年生まれ、慶應義塾大学法学部卒、読売新聞政治部、論説委員、政治部長などを歴任。読売新聞社特別編集委員、日本テレビ系などの報道キャスター。主な著書、『宿命に生き 運命に挑む』（藤原書店）、『新聞の力 新聞の読み方で世界が見える』（労働調査会）、『総理の器量 政治記者が見たリーダー秘話』（中公新書ラクレ）など。

申込み方法

25 周年記念シンポジウム参加申込み QR コード▶

問い合わせ：認定 NPO 法人 21 世紀構想研究会事務局

E-mail: info@kosoken.org

TEL: [03-6447-5901](tel:03-6447-5901)（受付時間 10:00~18:00、土・日・祝日を除く）

